（別添資料１）

事業所名　合同会社　みなみの木

# 支援プログラム（参考様式）

作成日　R8 年 11 月 1 日

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| 法人（事業所）理念 | | ・複雑化する社会の中で、様々な背景をもったこどもたちと向きあいかかわっていく<br>・地域社会の将来を担う人材を育てるべく、地域のニーズを満たしつつ、生きる力(life skill)が身につく、発達支援を提供する<br>・数少ない社会資源としての自覚を持ち、持続可能な障害児支援事業、児童福祉事業を経営する | | |
| 支援方針 | | ・こどもだけでなく、家庭・学校などこどもを取り巻く状況を総合的に判断しながら、必要な支援を考えて行う<br>・スキル・知識だけでなく発達段階における「自発性」・「勤勉性」が育っていくように支援を行う | | |
| 営業時間 | | 9 時 00 分から 16 時 30 分まで | 送迎実施の有無 | あり（○）　なし |
| | | 支　援　内　容 | | |
| 本人支援 | 健康・生活 | 就学時に関しては学校での頑張りをみとめながら、気持ちをうけとめる時間を確保します<br>学校に行きづらい子に対しては外出機会や社会参加の機会を確保します | | |
| | 運動・感覚 | 粗大・微細運動、道具を使用しての課題などバランスよく運動経験がつめるように支援します<br>運動習慣が少ない子には運動機会を確保します | | |
| | 認知・行動 | 自身の行動や考え方のクセを少しずつ自覚し、その対処法が身につけられるように寄り添って支援していきます | | |
| | 言語<br>コミュニケーション | 本人の気持ちを受け止め、くみ取りながら、気持ちを言語化し、他者と意思疎通が円滑になるように言い回しや話の順番などを覚えてもらうよう支援します | | |
| | 人間関係<br>社会性 | 児の年齢に合わせ職員の見守り・仲立ちのもと、さまざまな遊び・活動を通して、他児とのかかわりかたを学びます<br>外出活動などを通して社会経験やルールを学ぶ経験をふやします。<br>小学校高学年以降の児に対しては、就労につながる経験を増やします | | |
| 家族支援 | | LINE WORKS等で随時相談対応<br>数か月に1回程度の保護者会の開催 | 移行支援 | 就労系サービスを利用する場合などに必要に応じて情報共有<br>将来の仕事につながるような体験の確保 |
| 地域支援・地域連携 | | 学校・学童等の要請に合わせた見学・アドバイス等の実施<br>利用児以外の相談会実施 | 職員の質の向上 | 空き時間でのオンライン講座受講や映像を用いたミーティング等による支援の振り返り |
| 主な行事等 | | 数か月に1回程度の保護者・利用児・きょうだいに向けたイベントの開催 | | |